

(別紙様式例4)

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 7年 2月 28日

事業所名： ひだまりクラブ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

配布数：5 回収数：4 回収率：80%

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				4					
	2 職員の適切な配置	○			・その日の利用児の人数やニーズに合わせて、職員数を適切に調整している。	4					
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	○			・登園してきた時に、楽しい雰囲気ですぐに遊べるよう児童に合わせたおもちゃを分かりやすい位置に配置している。	4					・今後も引き続き、それぞれの利用児に合った環境作りを検討し対応します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			・業者の清掃に加えて、療育後のマット・おもちゃの消毒や冬場の加湿器の使用など、感染症対策を行っている。	4					
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			・活動内容、準備物、利用児や保護者の様子など、職員間で情報を共有している。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○	・実施できていない。						・松山市の事業モニタリングや外部監査を受けており、その結果をもとに事業改善を行います。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			・併設の児童発達センターで行われる研修・勉強会や外部研修に参加している。						
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか		○		・令和7年3月末までに公表する予定である。						
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				4					・今後も保護者との面談や日常の会話からニーズを分析し、個別の支援計画の作成をしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	3	○			・それぞれの専門性を活かし、情報共有をする中で支援計画を作成している。 ・策定会・検討会においては、それぞれが意見を出すようにしている。	/	/	/	/	/	
	4	○				4					
	5	○				/	/	/	/	/	
	6	○				4					
	7	○				/	/	/	/	/	・各専門分野を活かし、話し合いを持ちながら多角的なプログラムを立案していきます。
	8	○			・運動（粗大・微細）遊びや制作、手遊び、絵本等を児童の様子に合わせて取り入れている。 ・季節に応じた活動を行っている。	4					・利用児が楽しめる、色々な活動プログラムを立案していきたいと思えます。
	9		○		・利用状況によっては集団活動ができないことがあり、十分に組み合わせができていない。	/	/	/	/	/	
	10			○	・対象児が低年齢であることもあって、特にしていない。	/	/	/	/	/	
	11	○			・毎回、活動内容や役割分担、留意点等を話し合っている。	/	/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援に提供（続き）	12	○			・毎回、気づいた点等を話合っている。						
	13	○			・毎回記録をとり、支援や処置等を振り返るようにしている。						
	14	○									
	15					4					
関係機関や保護者との連携	1	○			・相談員からの要請に応じてふさわしい者が参加している。						
	2	○			・担当の相談員と情報交換を行い、必要に応じて関連機関とケース会等の話し合いの場を持っている。 ・保護者を通して看護サマリ(入院時)による情報共有を行えた。						
	3	○			・保護者を通して、状況把握や確認を行っている。直接的なやり取りは行えていない。						
	4	○			・児童発達センターへ移行する場合は、体験入園をしたり、引継ぎの場を設けたりしている。 ・特別支援学校の幼児体験学習での情報共有を行った。						
	5			○	・今年度は該当児がない。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関や保護者との連携 (続き)	6	○			・併設の児童発達センターより助言や研修を受けている。						
	7	○			・親子通園のため、日々子どもの状況を伝えあっている。	4					
	8		○		・まだ、不十分な点があるので、そうしていけるように努めたい。	4					・保護者勉強会の参加を呼びかけたり、日々の活動中に一緒にこどもの行動を観察して発達の段階を理解したり関わり方を提案したりできるよう努めます。
保護者への説明責任等	1	○				4					
	2	○				4					
	3	○				4					
	4		○		・「父母の会」等の活動はしていないが、保護者同士が交流できる場の確保はしている。	1	1		2		・保護者同士が交流できる場所と時間の提供を継続していきます。
	5	○			・利用開始前に、苦情の相談窓口について説明している。	4					・相談や要望に関しては、その時間を設ける等その都度対応します。
	6	○			・年に3,4回「ひだまり通信」を発行し、活動の様子等をお知らせしている。	2		1	1		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
保護者への説明責任等(続き)	7	○			・個人情報記載の書類やデータを園外に持ち出さないようにしたり、部外者に口外しないようにしている。	3			1	
	8	○				4				
	9	○			・入園式、卒園式に地域住民の方を来賓として招いている。					
	10					4				
非常時等の対応	1	○			・保護者が通る玄関や廊下の壁に提示している。	2			2	・玄関掲示板や多目的室壁面に掲示していることをその場を通った時に周知します。
	2	○			・併設の児童発達センターと一緒に定期的に災害を想定した避難訓練を行っている。	2			2	
	3	○								
	4	○			・主治医の指示書に基づき、栄養士と保護者が確認し合っている。					
	5	○				4				
	7	○			・終礼時に伝え合う等して職員間で共有している。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の対応（続き）	8	○			・定期的に研修を受けたり、チェックリストをつけて確認したりしている。	/	/	/	/		
	9	○			・保護者に説明し、承諾を得た上で同意書を作成し、個別の支援計画に記載している。日々の利用時間も記録している。	/	/	/	/		・子どもの発達状況や支援方法によって使用内容を見直し、その都度保護者に説明し、承諾を得るようにしていきます。
	10	/	/	/		4					
	11	/	/	/		4					